

慈明院寺報六月号

大黒天の米俵

今年も大黒天里帰り法会の準備をする時期になつた。この法会は亡くなつた父が考えたもので、慈明院のオリジナル法会である。家の神と

して福を招いてくれる大黒天を、お寺に里帰りしてもらいたいリフレッシュしてもらおうと護摩焚きを行なう。毎年たくさんの大黒天がお帰りになる。

大黒天は不思議な神仏で、色々な功德がある。財運を授けたり、台所を守る神様だつたり、農耕を司る田んぼの神様だつたりする。今回は大黒天が田んぼの神様になつた東北の昔話をご紹介。

昔、大黒天がまだ天竺にありし頃、力だめしに土用（どよう）という神様に力比べを挑みに行つた。ところが土用は山に出かけて留守だつた。大黒天は土用の家で待つていてが、やがて山のようく柴を背負つて、山のようく大男が帰つてきた。それが土用の神様だつた。

これはとても敵わん！大黒天は声もかけずに舟ですたこら逃げ出した。土用はなんと泳いで追いかけてきた。大黒天はなんとか陸地に上陸し、深い井戸を掘つて中に案山子を投げ込んだ。すると追いかけてきた土用は、井戸の中の案山子を大黒天だと思い込み、井戸に飛び込んだ。しめた！と大黒天は土用を井戸に埋めてしましましたとき。

井戸に埋められた土用の吐息が、大地を温めて稻を実らせたといふ。これは日本に稻作が伝來した神話のひとつとされ、この故事に感謝して大黒天の足下に米俵が献じられるようになつたといふ。田んぼの神様でもある大黒天、現代の米不足解消もお願いしてみようかしら。お帰りをお待ちします。住職 合掌



花まつりを開催

去る四月一日～八日、大師堂に花御堂を据え誕生仏（お釈迦様）を安置して、甘茶をそそいで供養する『花まつり』を開催しました。ご参拝頂きました皆様、ありがとうございました。

大黒天里帰り法会のご案内

来る令和六年 六月一日（日曜日）午前十一時より

*おまつりされている大黒天のご尊像をご持参下さい。護摩供養の炎にてお淨め致します。昼食は、お接待お配り致します。参拝の難しい方は大黒様をお迎えに伺います。また郵送して頂いても結構です。どうぞ別紙参照の上ご参拝下さい。

住職の独り言

去る四月六日にお寺で総代会を行い、今年度慈明院開山五十周年の記念事業として、境内の大師堂修理営繕、太鼓の張り替え、記念誌の

発行などを企画説明し、承認して頂きました。皆様にご協力をお願いして、寄付を募らせて

頂きます。後日ご案内させて頂きますので、宜しくお願ひします。住職 九拝



慈明院（〒八一ー一三一 福岡市早良区大字西二三四一ー二〇）

Tel（〇九二）八〇四一四五七〇 FAX（〇九二）八〇四一四六〇五

住職・吉住大慈 携帯電話〇九〇一（五二八一）一七四九四